

必要諸室及び仕様

1. 展示ホール

室の使い方		<ul style="list-style-type: none"> ・展示会、見本市、企業個展 ・大規模学会等における展示 ・ポスターセッション会場 ・レセプション会場 ・分科会会場 など
設置階数	1階	室数 2室
面積 ^{※1}	展示ホール A～D：約 10,000 m ² 展示ホール E～G：約 5,000 m ²	天井高 ^{※2} 10m 以上
配置条件		<ul style="list-style-type: none"> ・来場者のアプローチは1階からとすること。
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・展示ホールは、自由な展示レイアウトが可能となるよう、無柱空間とすること。 ・展示ホール A～D は、長方形かつ整形で、可動式パーテーションにより4分割利用（約 2,500 m²×4室）が可能なる形状とすること。 ・展示ホール E～G は、長方形かつ整形で、可動式パーテーションにより3分割利用（展示ホール G：約 2,000 m²、展示ホール E～F：約 1,500 m²×2室）が可能なる形状とすること。 ・搬出入車両が分割後の各展示ホールに直接出入りできるよう搬出入口を設けるなど、催事の全工程をスムーズに行えるような計画とすること。 ・展示物保護の観点から展示ホールの雨漏り・結露対策に十分に配慮した計画とすること。 ・展示ホール内には外光の入射がないようにすること。
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・床構造は強度の強いコンクリート構造とし、床耐荷重は、大型車両が問題なく乗り入れでき、車両展示会等にも対応できる 5t/m²以上とすること。 ・床面は養生テープの貼付け、剥離が容易で、かつ粘着が残りづらい表面であること。 ・展示ホール内には床下ピット（幅 600×深さ 900 程度）を設け、ガス・給排水と電気用ピット（分電盤横にコンセント、臨時電話回線端子盤、LAN ジャックを設けること）を交互に約 6 m 間隔で設けること。 ・展示ホール内の床下ピットと直行する方向には、約 1.2 m 間隔にサブピット（幅 300×深さ 100 程度）を設けること。 ・床下ピットに関しては、分割利用時のホールごとにガス、水道及び電気の使用量を算定する前提のもと配置すること。また、利用者が作業を容易にできる構造にすること。
	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> ・他室からの透過音は可能な限り低減させ、周辺住宅や近隣施設および施設内で他室の利用に支障のないよう所要の遮音・音響性能を確保すること。 ・音の反響を生じさせない設計に配慮し、残響時間は会議や講演会を想定すること。

設 備 条 件	映像・音響設備	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントに対し、十分に対応できる拡声、再生性能を備えた音響設備を設置すること。 展示ホールを分割利用する場合に、分割した展示ホールごとに音響設備を使用可能とすること。 展示ホールを分割利用する場合に、電波式のワイヤレスマイクを混信せず使用できること。
	情報通信設備・ 構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> 臨時電話回線（展示ホールを分割した場合でも各展示ホールにおいて2回線以上）を設置すること。 LAN回線（有線、無線いずれも）を設置すること。アウトレットについては、分割した各部屋の壁面に設けるほか、電気用ピットから容易に取り出せるようにすること。
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> 床下ピット内の分電盤容量は、200V(動力)125A、100V200Aを1セットとし、展示ホールA～Dには60ヶ所以上、展示ホールE～Gには30ヶ所以上を均等に設置すること。 催事の設営等の通電前作業での利用を想定し、適切な数のコンセント盤（100V、20A以上）を各展示ホールの壁面に設置すること。
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> 照明照度は床面700lx以上を確保すること 総点灯時間が40000時間経過後も床面照度700lxを維持できること。 照明の照度は任意の範囲で任意の照度に、主催者事務室に設置する調光器を通して調光でき、かつ、変更後のパターンを登録し、運営者事務室で一括管理（点灯・消灯含む）ができるシステムをとすること。
	ガス・給排水設 備	<ul style="list-style-type: none"> 床下ピット内のガス設備は、展示ホールA～Dには30ヶ所以上、展示ホールE～Gには15ヶ所以上を均等に設置すること。 床下ピット内の給排水取出口は、展示ホールA～Dには30ヶ所以上、展示ホールE～Gには15ヶ所以上を均等に設置すること。
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> 吊フックを、それぞれの展示ホールに適切な数を荷重が偏らないようにバランスよく設けること。 天井周辺の照明・スピーカー・吊フック等の修繕作業や交換を容易とする構造とし、キャットウォークを設置すること。床面からの作業も併せて可能とする構造とすること。 展示ホール内に設置する消火器については、壁面埋込タイプとし、破損に対する強度を備えて設置すること。 閉室時において利用可能な通線口（配管やケーブル等）を各搬出入口付近及びエントランスホールとの出入口付近に設けること。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 分割利用時に各室の来場者及び搬出入者からわかりやすいサイン等をエントランスホール及び搬出入口周辺等の適切な位置に設置すること。

※1 壁厚や柱型などを除いた有効面積

※2 梁下有効高さ。ただし、局所的に10mを下回ることも可とする。

2-1. 大会議室

室の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・会議及びセミナー会場 ・大規模会議等の分科会会場 ・展示会時の商談スペース など 		
設置階数	提案	室数	2室
面積	約 440 m ²	天井高	5m 程度
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・無柱空間とすること。 ・着席時に最大 300 名以上の収容を可能とする規模を確保すること。 ・来場者数を考慮し、部屋の出入口付近にまとまったスペースを確保すること。 ・出入口については2箇所ないしは3箇所を想定すること。 ・室内の壁面は、テープ類を貼りつけてもダメージを受けない材質とすること。 ・机や椅子を収納する収納庫を設置すること。 	
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上は、耐久性とメンテナンスのしやすさに留意すること。 	
	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> ・他室からの透過音は暗騒音にまぎれて聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。 ・音の反響を生じさせない設計に配慮し、残響時間は会議や講演会を想定すること。 	
設備条件	映像・音響設備	<ul style="list-style-type: none"> ・音響設備、映像用スクリーン（縦横比が 3:4 で天井高に合ったサイズ）を備えること。 ・音響ワゴンは壁への埋め込み式あるいは取り付け式とすること。 ・室内にマイクパッチ盤を設け、それに対応した天井スピーカーを設置すること。 ・電波式のワイヤレスマイクが利用できるようにすること。 ・音響回線はアナログ 2 回線を設置すること。 	
	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時電話回線（2 回線以上）を設置すること。 ・LAN 回線（有線、無線いずれも）を設置すること。 ・運営者事務室、防災センター、救護室、会議室 1・2、VIP ルーム、主催者事務室、控室、パントリーと連絡可能な内線通話器を設置すること。 	
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の規模に応じて壁面もしくは床面に、イベント電源盤・コンセント及び音響・照明・映像・同時通訳装置の出入力設備を備えること。 ・音響、照明、映像、同時通訳装置等内容によって電源は別系統にすること。 	
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・照明照度は床面 500lx 以上を確保すること。 ・総点灯時間が 40000 時間経過後も床面照度 500lx を維持できること。 ・照明は調光が可能なものとし、簡易調光卓を設置すること。また、変更後のパターンを登録し、運営者事務室で一括管理（点灯・消灯含む）ができるシステムとすること。 	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・映像用スクリーンの前に美術ボタン（W6000 程度）を設けること。 ・閉室時において利用可能な通線口（配管やケーブル等）を出入り口付近に設けること。 	

その他	<ul style="list-style-type: none">・ 廊下側（室外）には、入口扉付近の歩行の妨げにならない位置（床面から 2,100 mm以上の位置）に部屋名の表示設置をすること。・ 廊下側（室外）には、入口扉付近の壁面に、使用者や会議タイトル等を掲示することができる A 2 もしくは A 3 サイズの掲示板を設置すること。・ 掲示板はマグネットの使用と養生テープ貼りを可能とする材質とし、劣化の際には容易に交換可能な構造にすること。
-----	---

2-2. 会議室 1・2

室の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・会議及びセミナー会場 ・大規模会議等の分科会会場 ・展示会時の商談スペース など 		
設置階数	提案	室数	会議室 1 : 1 室 会議室 2 : 1 室
面積	会議室 1 : 約 400 m ² 会議室 2 : 約 200 m ²	天井高	3m 以上
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式パーテーションによりそれぞれ4分割利用が可能な形状とし、大規模会議や地域住民等の集会など、様々な規模の利用に対応できるようフレキシブルな計画とすること。 ・一体利用時に大規模会議等の利用が可能なよう、無柱空間とすること。 ・来場者数を考慮し、部屋の出入口付近にまとまったスペースを確保すること。 ・出入口については分割後の部屋ごとに1箇所以上を確保すること。 ・室内の壁面は、テープ類を貼りつけてもダメージを受けない材質とすること。 ・机や椅子を収納する収納庫を設置すること。 	
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・床仕上は、耐久性とメンテナンスのしやすさも留意すること。 	
	遮音・音響性能	<ul style="list-style-type: none"> ・他室からの透過音は暗騒音にまぎれて聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。 ・音の反響を生じさせない設計に配慮し、残響時間は会議や講演会を想定すること。 	
設備条件	映像・音響設備	<ul style="list-style-type: none"> ・分割利用時にそれぞれの部屋で音響設備を備えること。 ・分割利用時にそれぞれの部屋ごとに展示ホール、運営者事務室及び主催者事務室からの音声を放送可能なシステムを構築すること。 ・一体利用時に使用することを想定した映像用スクリーン（縦横比が3:4で天井高に合ったサイズ）を備えること。 ・音響ワゴンは壁への埋め込み式あるいは取り付け式とすること。 ・分割利用時に、電波式のワイヤレスマイクを混信せず使用できること。 ・室内にマイクパッチ盤を設け、それに対応した天井スピーカーを一括利用時・分割利用時のどちらでも対応できるよう設置すること。 ・音響回線は分割した部屋ごとに、アナログ2回線を設置すること。 	
	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時電話回線（分割後の部屋ごとに1回線以上）を設置すること。 ・LAN回線（有線、無線いずれも）を設置すること。 ・運営者事務室、防災センター、救護室、大会議室、VIPルーム、主催者事務室、控室、パントリーと連絡可能な内線通話器を設置すること。 	
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の規模に応じて壁面もしくは床面に、イベント電源盤、コンセント及び音響・照明・映像・同時通訳装置の出入力設備を備えること。 ・コンセントの電気回路は分割使用を想定して分割後の部屋ごととすること。 	

		<ul style="list-style-type: none"> 音響、照明、映像、同時通訳装置等内容によって電源は別系統にすること。
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> 照明照度は床面 500lx 以上を確保すること。 総点灯時間が 40000 時間経過後も床面照度 500lx を維持できること。 照明は調光が可能なものとし、簡易調光卓を設置すること。また、変更後のパターンを登録し、運営者事務室で一括管理（点灯・消灯含む）ができるシステムをとすること。 照明調光については、分割利用時にそれぞれの部屋で利用できるようにすること。
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> 映像用スクリーンの前に美術ボタン（W6000 程度）を設けること。 閉室時において利用可能な通線口（配管やケーブル等）を出入り口付近に設けること。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 廊下側（室外）には、入口扉付近の歩行の妨げにならない位置（床面から 2,100 mm 以上の位置）に部屋名の表示設置をすること。 廊下側（室外）には、入口扉付近の壁面に、使用者や会議タイトル等を掲示することができる A2 もしくは A3 サイズの掲示板を設置すること。 掲示板はマグネットの使用と養生テープ貼りを可能とする材質とし、劣化の際には容易に交換可能な構造にすること。

3. エントランスホール

室の使い方	・来場者の客溜まり ・催事の際の受付 ・エントランス など		
設置階数	1階	室数	1室
面積	3,000㎡以上	天井高	提案
配置条件	・入場時、退場時のスムーズな動線に配慮すること		
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランスホールは、大規模催事の際に必要な滞留空間を確保すること。 ・全部若しくは一部吹抜けとし、明るく開放感のある高質な空間となるよう配慮すること。 ・無柱空間とし視認性を確保し、歩行者に対して障害物となるものを極力設置しないようにすること。 ・受付（もぎり等）、クロークの設置に配慮した規模、計画とすること。 ・冬季間に建物エントランスから建物内に冷気が流れ込まないように配慮すること。 	
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・床は以下の点に留意すること。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 養生テープの貼付け、剥離が容易で、且つテープの粘着が残りづらい材質 ▶ 滑りにくく摩耗に耐えられるとともに見栄えにも優れ、美観が維持できる材質 ▶ メンテナンスのしやすい材質 	
設備条件	映像・音響設備	・展示ホールとの一体利用時にホール内の音や案内音声を流すための設備を設置すること。	
	情報通信設備・構内交換設備	・仮設受付などの利用を想定し、臨時電話、LAN（有線、無線とも）を適宜設置すること。特に登録受付等が設置されると想定される位置には配慮すること。	
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設受付などの利用を想定し、イベント電源盤を適宜設置すること。 ・コンセント（100V、20A以上）は、利用方法を想定し、壁の他に床にも適切な数を設置すること。 	
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・照明照度は床面 500lx 以上を確保すること。 ・総点灯時間が 40000 時間経過後も床面照度 500lx を維持できること。 ・照明は調光可能なものとし、日照状態に応じて適正な照度に自動調整する機能を有すること。 	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・吊りものの用のバトンを必要に応じて設置すること。 ・展示ホールの催事案内の掲示板を来場者の動線を考慮して設置すること。 	

4. VIP ルーム

室の使い方	VIP 用控室		
設置階数	1 階	室数	1 室
面積	約 50 m ²	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者の動線と交差しない位置に配置すること 		
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者として来賓（各省庁の大臣や首長等）、企業の社長や役員等、ゲスト(芸能人等)等を想定したホスピタリティの高い快適な空間とすること。 ・ オープニングセレモニーの前説明、登壇前の控室、VIP 同士の商談等の利用を想定した空間とすること。 	
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 床仕上は、耐久性やメンテナンスのしやすさに留意すること。 	
設備条件	映像・音響設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 液晶テレビモニターを設置すること。 	
	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営者事務室、防災センター、救護室、大会議室、会議室 1・2、主催者事務室、控室、パントリーと連絡可能な内線通話器を設置すること。 ・ LAN 回線（有線、無線とも）を設置すること。 	
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明照度は床面 500lx 以上を確保すること。 ・ 総点灯時間が 40000 時間経過後も床面照度 500lx を維持できること。 	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ クローゼットを設けること。 ・ 室内にトイレ・シャワーを設けること。 ・ ケータリングのための専用スペースを設置し、冷蔵庫や湯沸かし器等の電源を計画すること。周辺壁面は、湯沸かし器の蒸気により損傷および変色の影響を受けない材質とすること。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下側（室外）には、入口扉付近の歩行の妨げにならない位置（床面から 2,100 mm以上の位置）に部屋名の表示設置をすること。 		

5. 主催者事務室

室の使い方	主催者用控室		
設置階数	1階	室数	主催者事務室（大）：4室 主催者事務室（中）：1室 主催者事務室（小）：2室
面積	主催者事務室（大）：約70㎡ 主催者事務室（中）：約60㎡ 主催者事務室（小）：約40㎡	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者事務室（大）は、展示ホールA～Dに隣接して配置すること。 ・主催者事務室（中）は、展示ホールGに隣接して配置すること。 ・主催者事務室（小）は、展示ホールE～Fに隣接して配置すること。 ・エントランスホールに隣接して配置すること。 		
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・分割後の展示ホールごとに配置し、複数催事の同時開催時も利用可能とすること。 ・展示ホール及びエントランスホール側に出入口を設けること。 ・室内から展示ホール内及びエントランスホールの状況が直接確認できる窓等を設けること（カーテン等目隠しを設置）。 ・展示ホールやエントランスホール間と配線できる通線口を設置すること。 ・コピー機の設置スペースを確保すること ・室内の壁面は、テープ類を貼りつけてもダメージを受けない材質とすること。 	
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・耐水性を有し、清掃作業を容易にする材質とすること。 	
設条件備	映像・音響設備	<ul style="list-style-type: none"> ・展示ホール関連の音響設備（マイク音量の調整、有線放送・CDの再生やUSBポート等多様な機器接続にも対応可能とすること）を設けること。 ・音響回線は部屋ごとにアナログ2回線とすること。 ・液晶テレビモニターを設置すること。 	
	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・LAN回線（有線、無線とも）を設置すること。 ・臨時電話回線（2回線以上）を設置すること。 ・運営者事務室、防災センター、救護室、大会議室、会議室1・2、VIPルーム、控室、パントリーと連絡可能な内線通話器を設置すること。 	
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・照明照度は床面500lx以上を確保すること。 ・総点灯時間が40000時間経過後も床面照度500lxを維持できること。 ・展示ホール内の照明調光が可能な調光器を設けること。 	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯機能を設けること。 ・外套用ロッカーと手回り品用ロッカー（無料）を部屋のサイズに見合った数量分設置すること。交換時における多少のサイズ変更にも対応できる区画を想定して設計すること。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下側（室外）には、入口扉付近の壁面に会議タイトル等を掲示することができる掲示板を設置すること。 		

6. 控室

室の使い方		主催者サポート会社用控室		
設置階数		提案	室数	控室（大）：4室 控室（中）：1室 控室（小）：2室
面積		控室（大）：約 85 m ² 控室（中）：約 75 m ² 控室（小）：約 50 m ²	天井高	提案
施設 条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示ホールと同数配置し、複数催事の同時開催時も利用可能とすること。 ・ 室内の壁面は、テープ類を貼りつけてもダメージを受けない材質とすること。 		
	床性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐水性を有し、清掃作業を容易にする材質とすること。 		
設備 条件	映像・音響 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音響回線はアナログ2回線とすること。 ・ 液晶テレビモニターを設置すること。 		
	情報通信設 備・構内交 換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ LAN回線（有線、無線とも）を設置すること。 ・ 臨時電話回線（2回線以上）を設置すること。 ・ 運営者事務室、防災センター、大会議室、会議室1・2、VIPルーム、主催者事務室、パントリーと連絡可能な内線通話器を設置すること。 		
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手回り品用ロッカー（無料）を部屋のサイズに見合った数量過度分設置すること。交換時における多少のサイズ変更にも対応できる区画を想定して設計すること。 		
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下側（室外）には、入口扉付近の壁面に会議タイトル等を掲示することができる掲示板を設置すること。 		

7. 備品倉庫

室の使い方	備品保管用		
設置階数	1階	室数	7室
面積	展示ホールA～D用：約55㎡ 展示ホールG用：約45㎡ 展示ホールE,F用：約40㎡	天井高	提案
配置条件	・展示ホールを分割利用時にそれぞれの部屋で利用できるよう備品倉庫を各展示ホールに1カ所ずつ配置すること。		
施設条件	・机、椅子、台車の収納を可能とする十分なスペースを確保すること。		

8. パントリー

室の使い方	ケータリング提供用		
設置階数	提案	室数	1室
面積	約100㎡	天井高	提案
配置条件	・搬出入スペースからパントリーへ至るスムーズな動線に配慮すること。		
施設条件	基本性能	・レセプションの開催や催事の試食品提供に係る簡易的な調理等に対応できるよう必要な規模・機能を確保すること。	
	床性能	・耐水性を有し、清掃作業を容易にする材質とすること。	
設備条件	情報通信設備・構内交換設備	・LAN回線（有線、無線とも）を設置すること。 ・運営者事務室、防災センター、救護室、大会議室、会議室1・2、VIPルーム、主催者事務室、控室、と連絡可能な内線通話器を設置すること。	
	電気設備	・ケータリング用冷・温蔵ワゴン用コンセントを設置すること。	
	付帯設備	・給湯を可能とすること。 ・グリストラップを有する排水設備を設置すること。 ・大規模なケータリングを想定したシンク、製氷機、冷蔵庫、配膳台等（機種によっては複数）及び調理機器用電源を設けること。	
その他	・廊下側（室外）には、入口扉付近の壁面に会議タイトル等を掲示することができる掲示板を設置すること。		

9. トイレ

室の使い方		施設来場者利用		
設置階数		1階、2階	室数	提案
面積		提案	天井高	提案
配置条件		<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者の動線に配慮した配置とすること。 ・ 1階のトイレはエントランスホールから直接利用可能な位置と、展示ホールA～G内にそれぞれ設けること。 ・ 2階のトイレは主に2階会議室利用者用として設け、利用者数を考慮した便器数・配置とすること。 ・ 多目的トイレは利用者を考慮した位置に設けること。 		
施設条件		<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性用トイレ、女性用トイレ、男女共用トイレ及び多目的トイレを設けること。 ・ 利用者数等を考慮した便器数・配置とし、催事開催時の集中利用でも対応できるようにすること。 		
設備条件	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃用具やトイレットペーパー等の補充品を収納するロッカーを設置すること。 ・ トイレ毎にSK用ブースを設置すること。 ・ 洗面台にハンドドライヤーの設置をすること。 ・ トイレ出入口付近には、音声・点字による案内表示板を設けること。 ・ 各トイレ内に1か所ずつベビーベッドを設けること。 ・ 手洗いは自動水栓とすること。 ・ 小便器は個別自動洗浄小便器、大便器は洋風便器とすること。 ・ 洋風便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること。また、便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・ ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 ・ 女性用トイレにはパウダーコーナーを設けること。 ・ 子ども用便座も適宜設置する等、子どもの利用に配慮すること。 ・ 多目的トイレには下記の設備を設けること。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 鏡付きの手洗い場 ➤ オストメイトに対応した設備 ➤ サーモスタット付きのシャワー金具 ➤ 音声情報案内装置（4か国語対応） ➤ ベビーベッド 		
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 		

10. 運営者事務室

室の使い方	運営者用事務室		
設置階数	提案	室数	—
面積	提案	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規模、位置などは、運営業務の内容を想定して適切に計画すること。 		
施設条件	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営者事務室には、運営者執務室（会議スペース、応接室を含む）、業務従事者控室、給湯室、トイレ、運営者倉庫を含むこと。 ・ 維持管理業務に係る事務室を設置する場合は運営者事務室と区分すること。 	
	運営者執務室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執務室は、15人程度の座席が設置可能なスペースを確保すること。 ・ 会議スペースは70㎡以上を確保すること。 ・ 応接スペースは20㎡以上を2か所以上確保すること。 ・ 事務室内には窓を設置して外光を取り入れた明るい空間とし、窓には目隠しとしてのカーテン等を設けること。 ・ 利用者の入室の把握及び案内、料金徴収、鍵の授受等を円滑に行えるようにすること。 ・ その他、施設利用相談業務・利用予約受付業務・備品貸出業務等を円滑に行えるようにすること。 	
	トイレ・給湯室	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレは必要な便器数を確保すること。 ・ トイレの手洗いは自動水栓とし、鏡を設置すること。 ・ 小便器は個別自動洗浄小便器、大便器は洋風便器とすること。 ・ 洋風便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること。 ・ 便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・ トイレのブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 	
	施設運営者倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営者倉庫は運営者執務室とは別に設置すること。 	
設備条件	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な電源や通信インフラ、監視用モニター等の設備を設置すること。 ・ LAN回線（有線、無線とも）を設置すること。 ・ 防災センター、救護室、大会議室、会議室1・2、VIPルーム、主催者事務室、控室、パントリーと連絡可能な内線通話器を設置すること。 	
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示ホール、大会議室、会議室1・2の照明を一括制御（調光・点灯・消灯）できるコントローラを設置すること。 	
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンセントは室内のレイアウトに対し、十分な個数を適切に配置し、床面にもコンセントを設置すること。 	
	付帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各室空調・照明の中央管理に必要な機器を設置すること。 ・ 各種設備機器の監視、制御に必要な機器を設置すること。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ OAフロアとすること。 		

11. 防災センター

室の使い方	維持管理業務従事者利用		
設置階数	1階	室数	1室
面積	提案	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にも機能する場所に配置すること。 		
施設条件	基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・仮眠室（着替え用ロッカー含む）、シャワー室を設置すること。 ・建築設備の集中監視に必要な機器を設置すること。 ・主防犯監視装置等による中央監視に必要な機器を設置すること。 ・エレベーター設備、トイレ等の呼出し対応に必要な機器を設置すること。 ・停電、故障、災害等の非常時対応に必要な機器を設置すること。 ・鍵の管理に必要な機器を設置すること。 ・通用出入口の入退出管理に必要な機器を設置すること。 	
設備条件	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な電源や通信インフラ、監視用モニター、非常用放送等の設備を設置すること。 ・室内に防災盤等の中央監視に必要な機器を設置し、警報発令時に速やかに現場へ急行することが出来るようにすること。 ・LAN回線（有線、無線とも）を設置すること。 ・運営者事務室、救護室、大会議室、会議室1・2、VIPルーム、主催者事務室、控室、パントリーと連絡可能な内線電話器を設置すること。 	
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントは室内のレイアウトに対し、十分な個数を適切に配置し、床面にもコンセントを設置すること。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・OAフロアとすること。 ・通用出入口を設置すること。 		

12. 救護室

室の使い方	施設内でのけが人・急病人等の応急処置の場所		
設置階数	1階	室数	1室
面積	提案	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> 救急車両の動線を考慮しつつ、来場者動線に交錯しないように配慮すること。 救急隊の出入りや、救急車両への移送のしやすさに配慮すること 		
設備 条件	情報通信設備・構内交換設備	<ul style="list-style-type: none"> LAN回線（有線、無線とも）を設置すること。 運営者事務室、防災センター、大会議室、会議室1・2、VIPルーム、主催者事務室、控室、パントリーと連絡可能な内線電話器を設置すること。 	
	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> コンセントは室内のレイアウトに対し、十分な個数を適切に設置すること。 	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> 自動水栓式洗面台、鏡を設置すること。 	

13. サービススペース（ロッカースペース、テレワークスペース、自動販売機スペース）

室の使い方	来場者の利便の向上		
設置階数	1階	室数	—
面積	提案	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> エントランスホールに隣接して設けること。 自動販売機スペース（施設全体で15台程度を想定）は、利用者動線に留意した配置とし、商品補充を容易に行える場所とすること。 		
施設条件	<ul style="list-style-type: none"> ロッカースペースは、個数やサイズ変更に対応できる位置、仕様とすること。 		
設備 条件	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> 利用内容を想定し、コンセントを複数設けること。 	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機スペースは、給排水が必要な場合を想定し必要な設備を設置すること。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 種別のゴミ箱を設置するためのスペースを確保すること。 		

14. 搬出入スペース（展示ホール）

室の使い方	展示ホールへの搬出入		
設置階数	1階	室数	—
面積	提案	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出入動線を確保し、円滑な搬出入ができる位置に配置すること。 ・搬出入スペースの屋外部周囲は、搬出入作業用の荷捌き・駐車スペースを設けること。 		
施設条件	<ul style="list-style-type: none"> ・分割する展示ホールごとに1か所以上ずつ設けること（出入口は W5000×H5000以上とすること）。 ・搬出入口はシャッターとすること。 ・搬出入口シャッターには遮音性能をもたせるとともに迅速な開閉を可能とする速度を有するものを設置すること。 ・搬出入口シャッターとは別に人通用扉（非常口と兼用も可）を設けること。 ・外部には庇を設けるなど、搬出入の際の雨避け等に配慮すること。 		
設備条件	電気設備	・出入口とは別に通線口（ケーブル、配管等用）を設けること。	
	付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に展示車両の洗車等に必要散水栓を設置すること。 ・展示ホール内への虫等の侵入防止に資する設備を設けること。 	

15. 搬出入スペース（パントリー）

室の使い方	パントリーへの搬出入		
設置階数	1階	室数	—
面積	提案	天井高	提案
配置条件	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出入動線を確保し、円滑な搬出入ができる位置に配置すること。 ・搬出入スペースの屋外部周囲は、搬出入作業用の荷捌き・駐車スペースを設けること。 		
施設条件	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所設けること（出入口は W2000×H2500以上とすること）。 ・外部には庇を設けるなど、搬出入の際の雨避け等に配慮すること。 		
設備条件	付帯設備	・パントリー内への虫等の侵入防止に資する設備を設けること。	